



No one will be left behind

“誰ひとり取り残さない”

動物と一緒に地球の未来を考えよう

ダイジェスト版

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

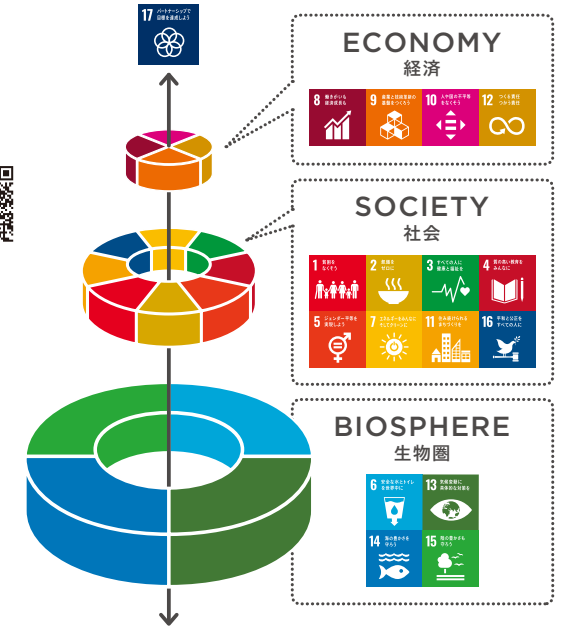
国連に加盟するすべての国は、2015年から2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、17のSDGs(Sustainable Development Goals)を掲げ、その達成に向けて力を尽くしています。

ウェディングケーキモデル

SDGsの17のゴールは相互に関連し合っています。この関連性をストックホルムのレジリエンスセンターでは、ウェディングケーキモデルとして示しました。17のゴールは「ECONOMY(経済)」、「SOCIETY(社会)」、「BIOSPHERE(生物圏)」の3つの層がお互いに関連し合っています。「誰ひとり取り残さない」世界の実現のためには、多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任性を意識したライフスタイルが求められています。

SDGsについて、さらに詳しい情報はこちらをご覧ください。

外務省
SDGs Action Platform
「SDGグローバル指標 (SDG Indicators)」



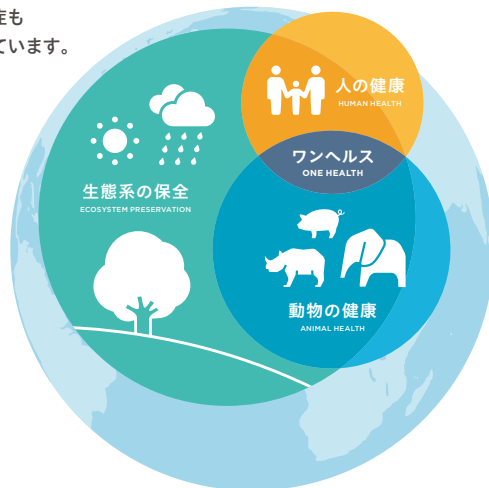
ワンヘルス —— 人と動物、生態系の健康はひとつ

「人、動物、生態系は相互に関連し、それらを全て良い状態にすることで真の健康が得られる」という考え方。

私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症も森林などの自然破壊と深くかかわりを持つと言われています。このような感染症のパンデミックを防ぐためには、野生動物の生息環境を守ることが重要です。

【人獣共通感染症(動物由来感染症)】

- 1976 エボラ出血熱
- 1997 ニパウイルス
- 2002 SARS
- 2009 新型インフルエンザ(H1N1)
- 2012 MERS
- 2019 新型コロナウイルス
- 20XX 新興・再興感染症ウイルス



新興感染症の60%が人獣共通感染症であり、その72%が野生動物由来だと言われています。

レッサーパンダの生息地を守ろう！

9月第3土曜日は国際レッサーパンダデーです。世界中の動物園などでは、さまざまなイベントを通して、レッサーパンダのことをより詳しく知ってもらう活動を行なっています。

レッサーパンダデーを提唱している国際的な保全団体「レッドパンダネットワーク」では、現地の人への自然や動物と共存していくための教育や森林再生活動など幅広い活動を行なっています。



RED PANDA NETWORK

動物園の役割

種の保存、教育・環境教育、調査・研究、レクリエーションという4つの役割に加え、現在、動物園では、保全と動物福祉への取り組みに力を入れています。

動物園に行くことも、「ゴール15 陸の豊かさも守ろう」につながります。人と野生をつなぐ扉を開けてみませんか。



著者 | 田宮緑(静岡大学教授) 柿島安博(静岡市立日本平動物園獣医師)
連絡先 | 静岡大学田宮研究室 tamiya.yukari@shizuoka.ac.jp

REFERENCES
ナショナル ジオグラフィック 日本版 2020年7月号
THE IUCN RED LIST OF THREATENED SPECIES <https://www.iucnredlist.org/species/714/110023718>
RED PANDA NETWORK <https://redpandanetwork.org>
カマル・バウ(2015)『ヒマラヤ:危機に瀕する楽園』<https://www.aeon.info/ef/redpanda2020/ja/topics/frominner5321/index.html>
グライ・ラマ・風島日本代表事務所(2013)『中国とインドの「水利権奪取」に向けたダムがらむヒマラヤ地方の生態系の危機』http://www.earthfocus.jp/news_release/2013_130829_china-and-india-water-grab-dams-pot-ecology-of-himalayas-in-danger.html
(Webサイト閲覧2022年8月1日)

オリジナル版はこちらをご覧ください



野生のレッサーパンダはヒマラヤの木の上で暮らしています。

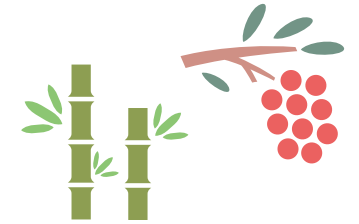
しなやかに動く小さな足は、木の上で生活するのに適しています。また、長くてふわふわふわした尾は、真冬には毛布のような役割を果たします。



©Red Panda Network



野生のレッサーパンダは、早朝と夕方に活発に活動し、食料となる竹や木の実を探します。また、卵や虫なども食べるといわれています。



動物園のレッサーパンダは、新鮮な竹の葉やリンゴなどを食べています。

動物園で飼育されている レッサーパンダ

2021.12.31時点

シセンレッサーパンダ

世界での総飼育頭数

362頭

そのうち、日本での飼育頭数

267頭



ネパールレッサーパンダ

※欧米を中心に飼育

世界での総飼育頭数

678頭

そのうち、日本での飼育頭数

10頭



©熱川バナナワニ園

多くの動物園で出会えるレッサーパンダですが、野生の生息数は**2,500~10,000頭**と推定されています。このままだと、あと**数十年で絶滅**してしまう危険性があります。

減少の理由は、生息地の分断化や森林伐採、密猟などです。

レッサーパンダの生息地であるヒマラヤ山脈の水は、世界の人口のおおよそ**5分の1**の人々の命の糧となっています。

また、周辺諸国の経済促進のために、その水路に**400以上ものダム建設**の計画があります。ダムの開発により、森は永久に元に戻りません。

その背景にある人口増加と諸国発展という課題や、水資源をめぐる熾烈な争いについても、世界中の人々で考えていかなければなりません。

ヒマラヤの自然



野生のレッサーパンダ
2,500~10,000頭



約16億人



世界の人口 約80億人